

2026 年 10 月 6 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社

(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

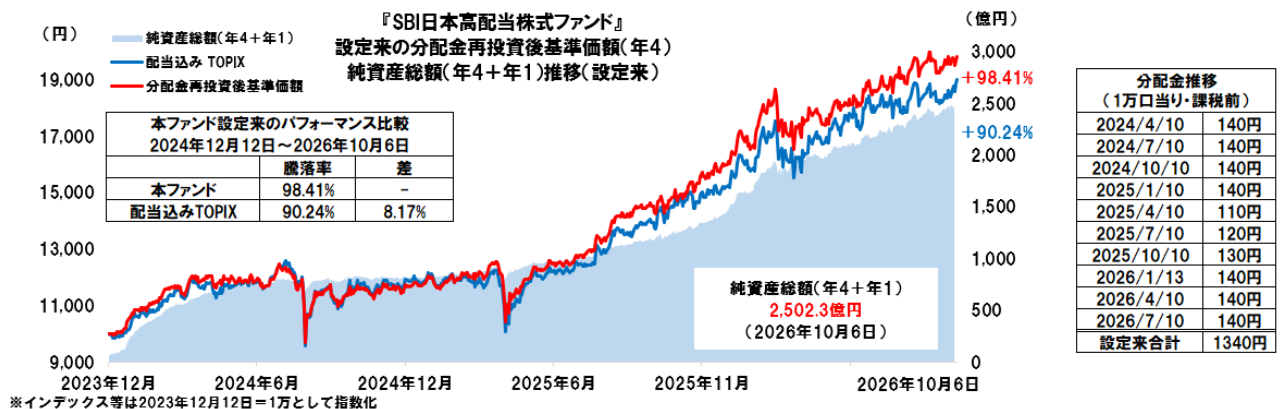
『SBI 日本高配当株式ファンド』年 4 回決算型および年 1 回決算型

純資産総額合計 **2,500 億円**突破のお知らせ

～ **2,000 億円**から半年で **2,500 億円**へ “成長”と“分配”を目指す運用への支持が継続 ～

当子会社である SBI アセットマネジメント株式会社が設定・運用する『SBI 日本高配当株式(分配)ファンド(年 4 回決算型)』(以下「分配型」)および『SBI 日本高配当株式ファンド(年 1 回決算型)』(以下「成長型」)の純資産総額の合計が、2,500 億円を突破いたしました。

分配型は、公募の国内株式型で高配当を目指すファンドの中で第 3 位^{※1}の純資産規模となり、上位 3 本の中では設定からの運用期間が最も短い商品でありながら、急速に支持を拡大しています。2023 年 12 月 12 日の設定来 2 年 10 か月弱で騰落率^{※2}+98.41%を実現し、配当込み TOPIX を 8.17%上回る実績を挙げております。2026 年年初来騰落率^{※2}も+22.20%と堅調に推移しているほか、過去 10 回の決算^{※3}では計 1,340 円を分配し、平均分配率^{※4}は 5.36%となっております。



日本経済のデフレ脱却の進展や企業業績の上振れ、ガバナンス改革の深化を背景に増配や自社株買いなど株主還元の拡大が続くなか、政府の成長投資を重視した政策への期待や AI・半導体関連株の上昇もあり、日経平均株価は 7 万円前後の高値圏で推移するなど、日本株式市場は堅調な展開となっています。こうした環境のもと、両ファンドは高い配当利回りに加えて、株価上昇が見込まれる銘柄を厳選することで「分配」と「成長」の両立を追求する点を特長としています。この運用方針が投資家の皆さまから評価され、両ファンドの純資産総額の合計は、国内株式型アクティブファンド 467 本の中でトップ 10 入りとなる第 9 位^{※5}に相当する規模へと拡大するなど、支持の拡大につながっていると認識しております。さらに、信託報酬は年率 0.099%と、アクティブファンドでありながらインデックスファンドを含む国内株式型ファンドの中で最低水準^{※6}を実現しています。当社グループは今後も「顧客中心主義」を徹底し、低コストで良質な運用戦略を提供することで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1：国内公募追加型株式投信（ETF 除く）のうち、2026 年 9 月末時点で国内株式型に属し、ファンド名に「配当」を含むファンドが対象。残高は 2026 年 10 月 5 日時点。ウェルスアドバイザー株式会社（以下「WA」）のデータを基に SBI アセット調べ。

※2：分配金（税引前）再投資ベースの基準価額騰落率（2026 年 10 月 6 日時点）。

※3：年 4 回の決算時に分配を行うことを目指しますが、毎決算時の分配金のお支払いを保証するものではありません。

※4：過去の分配金総額の平均額の年 4 回換算分の当初募集価額（1 万円）に対する比率。

※5：公募投信（ETF、DC・SMA 専用ファンドを除く）のうち国内株式型のアクティブファンド 467 本が対象（分配型と成長型は合算して 1 本として集計し、他のファンドは各ファンド単体の純資産総額で比較）。WA のデータを基に SBI アセット調べ（2026 年 10 月 6 日時点）。

※6：国内公募追加型株式投信（ETF、DC・SMA 専用ファンドを除く）として、WA のデータを基に SBI アセット調べ（2026 年 10 月 6 日時点）。

****【本件に関するお問い合わせ先】*****

SBI グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBI アセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 311 号、加入協会:一般社団法人資産運用業協会)